

アマミトゲネズミ (*Tokudaia osimensis*) の新規導入と飼育経過について

和田優子

(横浜市立金沢動物園)

2014年5月環境省自然環境局と日本動物園水族館(以下JAZA)で「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」を締結した。基本協定書に基づき、2016年「第1期トゲネズミ類生息域外保全実施計画」を策定し、トゲネズミ3種のうち、比較的生息数が安定しているアマミトゲネズミでの飼育繁殖技術開発に着手した。

2017年から4回奄美大島でのファウンダーの捕獲を実施し、JAZA加盟園館3園での飼育を開始し、飼育繁殖技術の確立、科学的知見の集積を行っている。金沢動物園では2021年7月7日に埼玉県こども動物自然公園から6頭(雄3頭雌3頭)を新規導入した。7月23日から順次雌雄同居を開始し、11月21日から交尾行動が確認され繁殖に至った。